



横浜市立富岡小学校

学校だより3月号



新しい一步を踏み出すために

～もうすぐ 進学 進級 です!～

校長 浅野 修一

「この冬は凍えるような寒い日があったかと思えば、この時期にこの気温と驚くような暖かい日があるなど、寒暖の差が激しい冬となりました。」これは昨年度の学校だより3月号の巻頭言の書き出しですが、令和5年度の冬も同じような気候となりました。

日本には四季があり、それぞれの季節によさや趣があります。今年の大河ドラマの舞台は平安時代ですが、その時代に書かれた枕草子にも「冬はつとめて」という一節があります。「つとめて」とは早朝のことですが、雪が降っていたり霜が白く降りていたり、つまり冬は寒い朝がよい（似つかわしい）と書かれています。昔は冬が寒いからこそ、心から春の訪れを喜ぶことができたのかもしれない。

私は毎年、職員室前の白梅の開花に春の訪れを感じていることを学校だよりでお伝えしてきました。今年も同様に毎朝観察を続けて開花を喜んでいましたが、ふとこれまでの梅の様子を写した写真を見比べてみました。すると、昨年写真と今年写真の梅の開花状況はほぼ同じでした。梅の木も去年と今年の冬の天候が同じような状況だったことを伝えてくれていると感じました。いずれにしても、春はすぐそこまで来ています。訪れる春を心待ちにしながら、令和5年度を締めくくってまいります。

3月19日（火）に令和5年度卒業証書授与式を挙行いたします。新型コロナウイルス対応が2類から5類に変更され規制が緩和されましたが、在校生の参加につきましては、昨年度と同様5年生が式に参加することといたします。マスク着用につきましても、児童および保護者の皆様の思いに沿って、柔軟に対応してまいります。なおご来賓につきましては、地域の方々、150周年記念実行委員会の皆様を中心に、昨年度より多くの方々にご臨席を賜るべく準備しております。卒業式は6年生にとって、小学校生活最後の晴れ舞台となります。堂々と、晴れやかに、新しいステージに向かって進んでいってほしいと願っています。

最後になりましたが、令和5年度の本校教育活動に対し皆様のご理解とご協力を賜りましたこと、また本校創立150周年の年にあたり、地域、保護者の皆様には別して多大なるご協力をいただきましたこと、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。おかげをもちまして、子どもたちにとっても職員にとっても思い出に残る1年になりました。これからも子ども達のことを第一に考えながら、一步ずつ着実に教育活動を推進し、地域とともに歩む学校として前進してまいります。引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。